

# カルビーグループのDXロードマップ

---

2025年10月

**Calbee**

企業理念を実現しながら創業から100年を超えて成長する企業を目指して、  
デジタル・ITを通じて「変革」を興す

## 2030ビジョン



✓ 事業環境変化およびデジタル化の進展や情報流通の高速化に対応。

✓ 現場活動  
(生産・物流・営業・商品開発等)  
のデジタル化で得られる知見のスピーディーな活用。



※1 S&OP : 「Sales & Operation Planning」の略称

# 2030年に向けたDXロードマップ

掘りだそう、自然の力。



## 1. DX創発フェーズ

## 2. 変革フェーズ

## 3. イノベーション・フェーズ (創立100年にむけた価値創造)

S&OP

Ver.1.0 サプライチェーンの最適化

●SKU別損益の見える化と活用

Ver.2.0 ビッグデータを活用した  
リテールサイエンスの深化

●C-BOSSの運用スタート

ベストプラクティスのグローバル展開

Ver.3.0 AIを活用した営業・マーケティング革新

企業・業界を超えた  
価値創造へ

工場DX

●関西びわこ工場からDXスタート

Ver.1.0 現場主導でDXを開始

●せとうち広島工場に応用展開

Ver.2.0 工場DX・AI活用の横展開

Ver.3.0 自動化取り組み加速

グローバル展開

●香港、タイから工場DXをスタート

基盤強化

●現場主導でDX人財の育成スタート

DX人財育成

次の成長を見据えたIT基盤人財の強化

グローバルIT強化

基盤構築・セキュリティ強化

FY'24/3

FY'25/3

FY'26/3

FY'27/3

FY'28/3

FY'29/3

FY'30/3

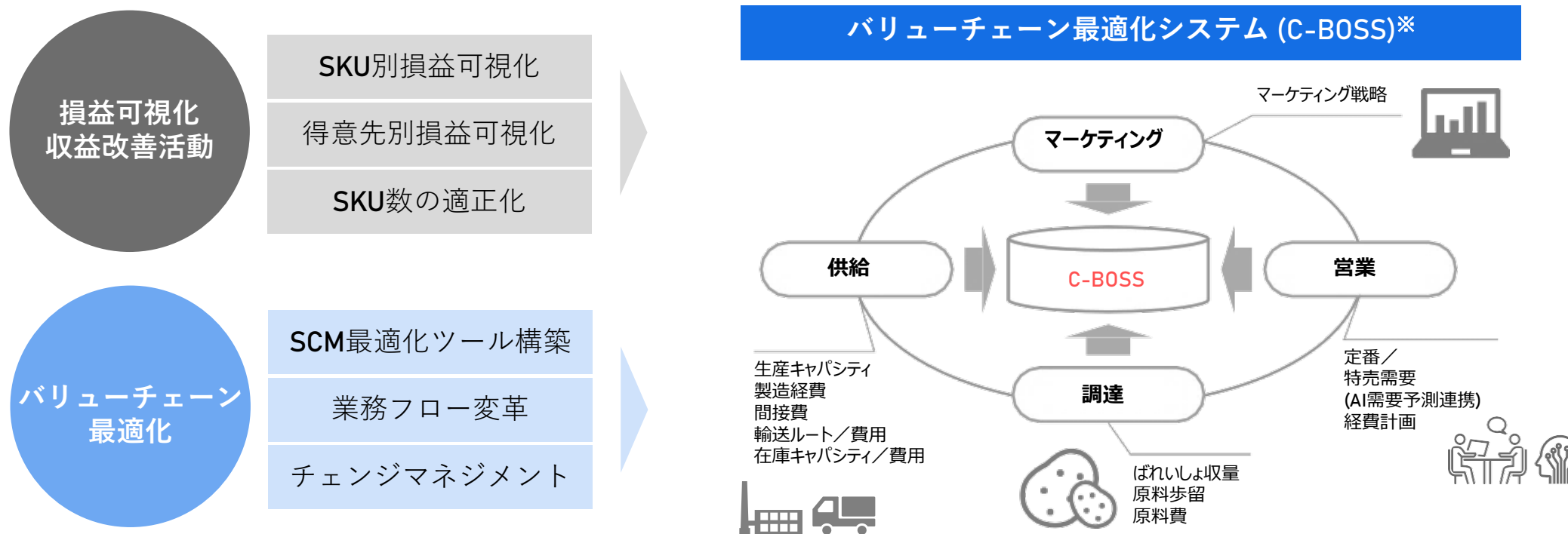
FY'31/3

& Beyond

© Calbee, Inc. 2

## 2026年3月期に、今後の利益成長に資する「C-BOSS」 （調達～供給までのサプライチェーン効率化システム）の本格運用を実現させる

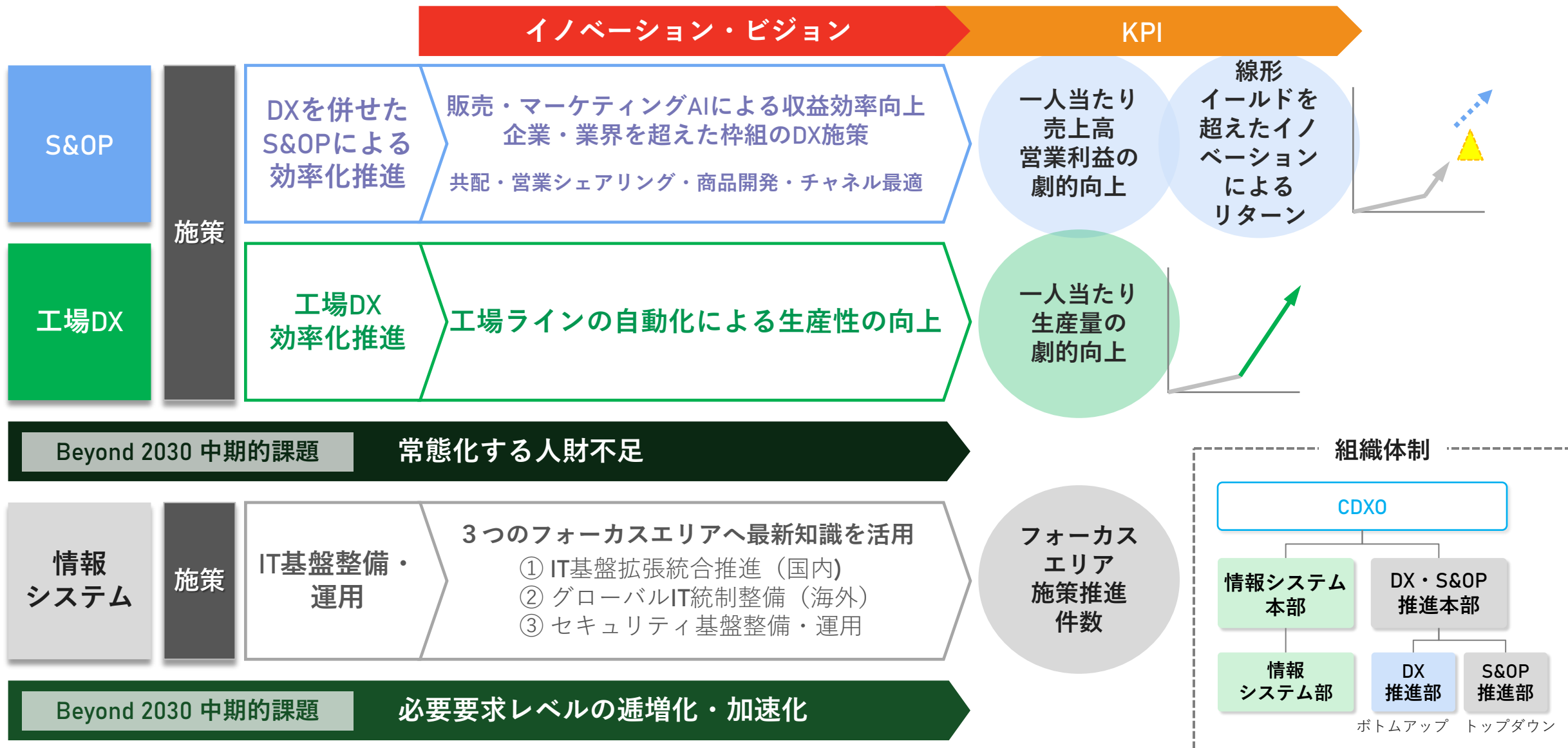
- SKU別、得意先ごとのSKU別の損益可視化ツールを活用した収益改善活動を継続
- DXを活用したデータドリブンの迅速な意思決定プロセスにてサプライチェーンの効率化を進める
- 更なるバリューチェーンの最適化を目指して、マーケティングや営業の変革を促進する機能を検討



※ C-BOSS：「Calbee Business Optimization Simulation System」の略称

# 2030年に向けた情報システム方針・施策

	経営方針	IT方針	主なIT施策
国内	量から質へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2030年、それ以降も安定利用できるIT事業基盤</li> <li>・業務効率化のため、データ活用の基盤整備（国内）</li> </ul>	事業基盤としてのIT基盤整備（含セキュリティ） 年数を経過したシステム刷新も含む
			効率化・DX推進（データレイク・活用基盤）
海外	売上構成比40%超へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバルのカルビー流IT統制（国内と現地の知見）</li> <li>・グローバルデータ基盤とコミュニケーションIT基盤</li> <li>・セキュリティ対応</li> </ul>	アプリ、インフラ データレイク・基盤とコミュニケーション基盤
			グローバルでのセキュリティ
			グローバルIT統制の枠組みと体制構築
新規事業	売上構成比10%へ <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アグリビジネス」</li> <li>・「食と健康」</li> </ul>	クラウド・SaaSも活用した安全・円滑な導入および運用	新規事業迅速立ち上げに向けたIT支援 （ガイドライン・体制整備）
			国内グループ会社IT支援 （馬鈴薯・甘藷事業のIT基盤と運用体制）
	共通基盤（人）	IT部門と事業部門の両方にIT人財を配置	DX推進のためのIT人財を事業部門と共に育成



# 工場DX（生産性向上・働き方改革）の標準導入ステップ

導入のコスト

導入の難易度



●自動運転

●機器からの直接データ取得

●オンラインNIR

DataRobot  
●データ分析活用

●画像処理

●PLC データ取得

●電子帳票

●温度可視化

RPA  
●業務自動化

●IoTダッシュボード

●データ分析活用

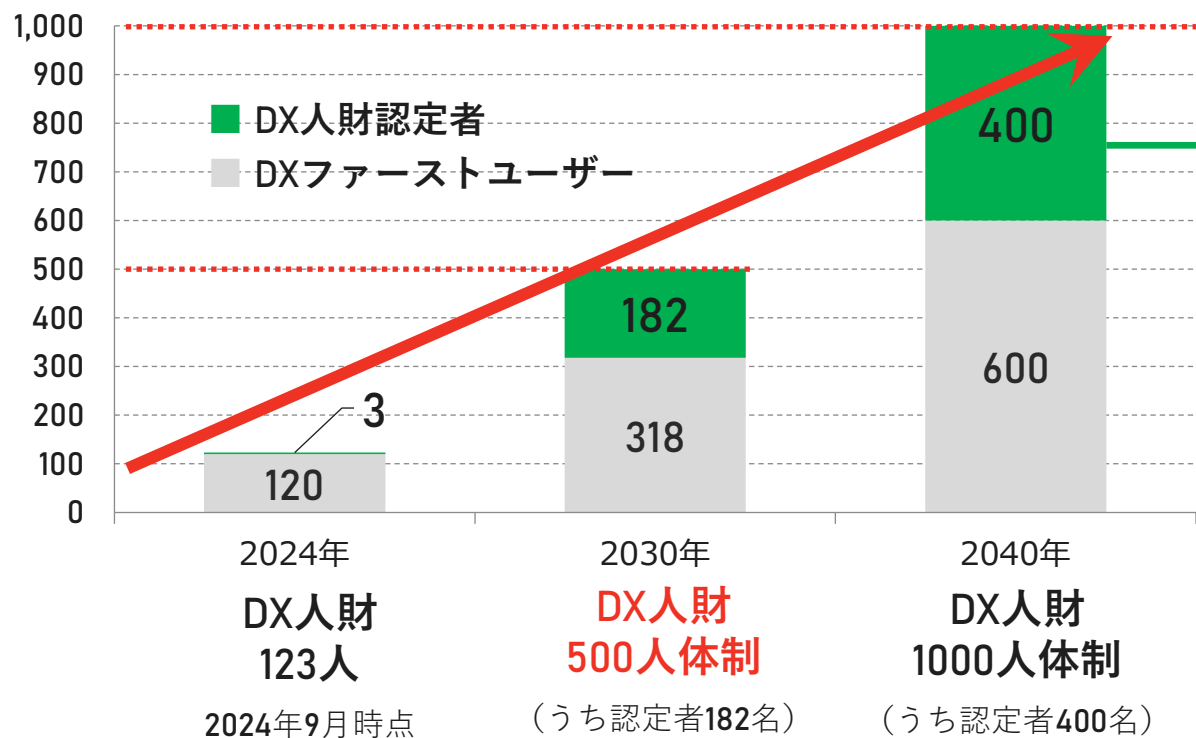
- ✓ 工場DX導入ステップ標準化し、期待効果も明示
- ✓ DX人財の育成と共に工場DX導入スピードを加速
- ✓ 25年度から各工場の工場DX導入状況をKPI化・可視化

工場の要望、必要性も加味して、導入ステップを個別検討

進化した場合、メニューの追加有

# 2030年に向けたDX人財の育成プラン

## 2030年度に **500名のDX人財** を目指す



**DX人財認定者**

✓ スキルに応じた4カテゴリ

DX シニアマスター	DX ジュニアマスター
ジュニアデータ サイエンティスト	DX プロユーザー

工場DXの推進・工場DX人財の育成を目的として「AIアカデミー」を2024年4月に西日本で立ち上げ  
 選定メンバーの活動期間は2年 ▶2025年度には東日本にも拡大予定

掘りだそう、自然の力。

***Calbee***